
天上天下唯我独尊～彼の吸血鬼は幼女ですか?～

火皇院 焔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天上天下唯我独尊〜彼の吸血鬼は幼女ですか？〜

【Nコード】

N4603F

【作者名】

火皇院 焰

【あらすじ】

あるときストーカーに悩ませられる吸血鬼を救った少年のどたばた吸血鬼日常ストーリー！！

ブローグ：よくわからないけど多分意味はないと思う（前書き）

最初の方はシリアスくさいですがだんだんギャグになっていく…予定です…

ブローグ：よくわからないけど多分意味はないと思う

暗い中をナニカが進む

そのナニカはゆっくりと顔を上げると何かを確信したように薄く笑う
徐々にナニカは彼女の背に手をかけた…

第一話やつぱりお約束な展開

俺は今ままで地球上でもっとも強い生物は人間だと思っていた力がではない、そう…人間の武器は知能だ。

その知能をつかって倒せないものは無いだろうと思った。

残念ながら俺にはその知能が不足しているといわれる、まあ用は勉強不足な訳だが…

それでもどうにか知恵を出して倒せない生物は無いと思っていた…彼らに出会うまでは…いやこの場合は最初に合ったのが彼女だったから彼女達に出会うまでは…か

俺はその日部活を終えて家へ自転車を進めていた、今俺は親元を離れて一人暮らしをしている。

残念ながらうちの学校には寮が無く学校の近くのアパートを借りるほかなかったが

そのおかげで門限は無い、門限が無いといっても部活が終わればすることが無いのでこうやって早々に帰宅についている。

「それにしても今日の部活は長かったな、すこし熱中すぎたか…」ふと自転車を止め静寂の中夜空を見上げる

何の変哲も無い空だ…星が有って月が有って女の子が電柱の上にいて街灯があつて………って、女のこお!?

驚いて再度見るしかしどうやら目の錯覚ではないらしい確かにその子は電柱の上にいた。

年のころは10歳程度金色のきらきらした髪、月並みな言い方だが折れてしまいそうな腕

ゴシッククロリータの赤いドレスチックな服、印象的な赤い瞳、かわいらしい顔

確かにこの日本の片田舎では異質だが…確かに人間に見える何故?最初の疑問は至極当然なものだった。

疑問だけが頭を駆け回って、思考を停止させる、しかし本能の部分で俺は警鐘をけたたましく鳴らしていた。

この子はまずい…生物としての格が違う…

しかしその絶対の恐怖心からか或いは追いつかない思考のせいかはたまた彼女のかわいらしい容姿のせいかな俺はそこを一步も動けなかった。

そのまま時間だけが過ぎる…

……… 1分

……… 2分

……… 3分

五分ほど過ぎた頃だろうか…ふと気づくとそこにその子の姿は無かった。

我に返って慌てて自転車に乗って家に帰った…

ここまでではどっからどう見てもただの怖い話だが俺の話はここで終わらなかった。

家にかえってから夕食の準備をする、暫く料理をしていると先ほどの事も忘れるかと思っただが
存外そういうものでもないらしい。

料理は好きだ、食材に味をつけて自分好みにするのが好きだった。
ひとまず俺は自分で作ったその料理をさっさと食べ食器を洗う、こんな日はさっさと寝てしまうに限る。

つと…その前に風呂か…沸かさないとな…

思いつつ食器を洗い終えて浴槽の水を抜きに風呂場まで行く

ちよろ…ちよろ…ちよろ…

風呂場から水音がする…ちゃんと止めてなかったのか…まったく水道代がかかるな…

なんにしても早く水を止めないと・・・

ガラガラと音をたてて脱衣所に入って浴室の扉を開ける。

……さっきの女の子がいた…電柱の上に立っていた女の子だ
さつきと同じ格好である、違う点は三つほど

まず第一に体がぬれている、第二に服があちこち破けている
そして最後に…腹部から血がにじみでていた、しかも少量ではなく
見るからに多量…

「おい！冗談じゃないぞ！」

慌てて駆け寄って息を確かめる

大丈夫、一応している

「大丈夫か！？救急車呼ぶぞ！」

「ち……………」

「なんだって？」

顔を近づけて声を聞き取ろうとする

「血を…よこせ…」

その声は少女に似つかわしいかわいらしい声だった
がそのときの俺には地獄のそこから響くような声に聞こえた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4603f/>

天上天下唯我独尊～彼の吸血鬼は幼女ですか？～

2010年10月21日20時46分発行